

富士川町役場環境保全率先行動計画(第2期) 事務事業編(公共施設)

公共施設等の燃料等の使用実績における温室効果ガス(二酸化炭素CO2)総排出量の状況(平成27年度(基準年度)~令和4年度)

■温室効果ガス(二酸化炭素CO2)の総排出量(年度別)

単位 : kg-CO2

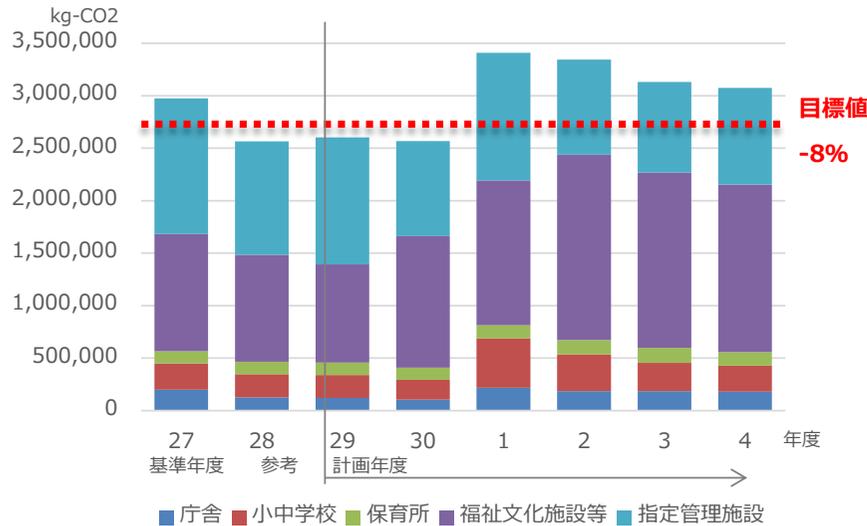
項目	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平成27年度からの削減率
	排出量	増減率															
庁舎	198,443	100%	126,091	64%	121,663	61%	104,263	53%	217,827	110%	184,555	93%	186,251	94%	179,261	90%	100,711 3.39%
小中学校	252,240	100%	220,668	87%	218,030	86%	187,962	75%	470,950	187%	351,560	139%	269,001	107%	249,062	99%	
保育所	115,243	100%	118,697	103%	118,671	103%	117,185	102%	125,656	109%	137,353	119%	142,867	124%	130,223	113%	
福祉文化施設等	1,117,050	100%	1,019,196	91%	935,159	84%	1,253,907	112%	1,378,978	123%	1,766,404	158%	1,670,123	150%	1,594,610	143%	
指定管理施設	1,290,768	100%	1,081,287	84%	1,210,067	94%	903,855	70%	1,216,441	94%	903,185	70%	863,311	67%	921,299	71%	
合計	2,973,744	100%	2,565,939	86%	2,603,590	88%	2,567,172	86%	3,409,852	115%	3,343,057	112%	3,131,553	105%	3,074,455	103%	

基準年度

参考

計画年度

温室効果ガス(二酸化炭素CO2)の排出量(年度別)



【参考】

■令和4年度のCO2排出量は平成27年度に設定した基準年度の-8%という目標値に対して11%のプラスとなっており、目標を達成することはできなかった。しかし、基準年度と令和4年度のエネルギー使用量の増減率を比べると平均で約29%マイナスとなっている。また、全体のCO2排出量は前年度と比べると約2%減少している。その要因として次のことが挙げられる。令和3年度と比較して全体のエネルギー使用量が電気使用量をのぞいて減少していることがあげられる。

■エネルギー使用量については、平成27年度と比べて、電気、灯油、重油、LPG、ガソリン、軽油のどの点においても削減ができていくことが分かる。また、電気以外の項目については使用量及びCO2排出量は、平成27年度と比べて20%以上の削減に成功している。来年度も引き続き公用車の計画的な更新を行い燃料等の削減を目指すとともに、電気使用量が昨年度よりも増加しているため、節電をこれからも心掛けたい。